

# 海軍公報

第四千二百十四號

海軍大臣官房

大正十五年十二月二日(木)

## ○令 達

官房第三六七五號

位階令第七條ニ該當スル有位者アル場合ニ於テハ其ノ品位ヲ保ツコト能ハサル事情又ハ體面ヲ汚辱スル行爲ノ發見具シ所屬長官ヨリ遲滞ナク内閣總理大臣(右爵者又ハ爵ヲ襲クコトヲ得ヘキ相續人ナルトキハ宮内大臣)及海軍大臣ニ報告スヘシ

明治三十四年海總第七八〇號ノ三及同海總第七八〇號ノ四ハ之ヲ廢止ス

大正十五年十二月二日

海軍大臣 財 部 彪

## ○通 牒

官房第三六七五號ノ二

大正十五年十二月二日

關係各廳長殿

位階令並位階令施行細則ノ施行ニ關スル件

十月二十一日官報號外ヲ以テ公布セラレタル位階令並位階令施行細則ハ十一月十日ヨリ施行セラレ候ニ就テハ今因内閣書記官長ヨリ通牒ノ次第モ有之其ノ施行上萬遺誤等ハ期シ殊ニ位階令施行細則ニ規定シタル諸報告等ノ功勞ニ付テハ特ニ御留意相成度

右依命通牒ス

(別紙)

閣甲第一六二號

大正十五年十一月三日

内閣書記官長 塚 本 清 治

海軍次官 大角岑生殿

位階令並位階令施行細則ノ施行ニ關スル件

客月二十一日官報號外ヲ以テ公布セラレ候位階令並位階令施行細則本月十日ヨリ施行セラレ候ニ就テハ豫メ

海軍諸則登載

海軍公報 第四千二百十四號

大正十五年十二月二日

一一七一

0618

左記事項及貴應關係事項ニ關シ特ニ御留意相成度「尙貴管下關係各廳ヘモ此ノ旨篤ト御示達相成候様致度」依命此段及通牒候

記

一、位階令並位階令施行細則ノ施行上萬遺漏ナキヲ期スルコト殊ニ位階令施行細則ニ規定シタル諸報告等ノ事務ニ付テハ特ニ遺漏ナキ様注意セラレタキコト

二、位階令第七條ニ該當スル有位者アル場合ニ於テハ其ノ品位ヲ保ツコト能ハサル事情又ハ體面ヲ汚辱スル行爲ヲ詳細ニ具シ漏滯ナク内閣總理大臣ニ報告スルコト但シ有爵者又ハ爵ヲ襲クコトヲ得ヘキ相續人ナルトキハ之ヲ宮内大臣ニ報告スルコト

經物第一〇七二號

大正十五年十二月二日

海軍省 經理局長

各契約擔任官殿

「デルタメタル」ニ關スル件

從來「デルタメタル」棒ノ購買ニ關シテハ區々ニ涉リタルヤニ及開候處右ハ購買名簿二類一四項中「高力眞鍮丸棒」ニ包含スル儀ニ有之候  
右爲念通牒ス

○ 辭 令

海軍大學校ニ於ケル海上氣象學教授囑託ヲ解ク(計十名)  
海軍省)

氣象臺技師 第地 宜雄

海軍少將 吉岡 保貞

海軍大佐 三井 清三郎

海軍中佐 高須 四郎

同 澤本 賴雄

同 雪下 勝美

同 宮田 義一

海軍機關大佐 中尾 金房

海軍機關中佐 三戸 山彦

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

(各通) 海軍機關中佐 三戸 山彦

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍軍醫大佐 石原 勝

海軍少將 藤田 尙徳

海軍大佐 命ス

海軍大佐 東林 岩次郎

同 及川 古志郎

海軍中佐 大熊 政吉

海軍大尉 山森 龜之助

海軍機關中佐 伊藤 幸吉

0619





○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月二日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、磐手、口長門、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、加古

古鷹、滿州、日進、春日、金剛、阿蘇

松、杉、柏、峯風、矢風、

澤風、沖風、野風、沼風、驅一、梅

楠、桂、楓、灘風、汐風、夕風、

島風、驅七、驅五、驅九、驅三、

波風、三日月、白露

波一、波二、波九、波一〇、呂一、

呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、

呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、

呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、

呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、

呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、

呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、

呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、

呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、

呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、

呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、

呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、

呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、

呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、

呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、

呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、

呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、

呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、

呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、

【石川島】(驅三〇)  
 【浦賀】(驅二八)  
 【吳】(驅二八)  
 日向、勝力、伊勢、扶桑、鬼怒、  
 神通、阿武隈、那珂、大井、長鯨、  
 千歲、淀、球磨、淺間、多摩、  
 明石、勝力、伊勢、扶桑、鬼怒、  
 日向、勝力、伊勢、扶桑、鬼怒、  
 神通、阿武隈、那珂、大井、長鯨、  
 武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江  
 (加賀)、(伊五八)

天龍、韓崎、赤城、矢矧、木曾

山風、海風、檜、驅一、驅二、驅三、

驅四、驅五、驅六、驅七、驅八、

驅九、驅一〇、驅一一、驅一二、驅一三、

驅一四、驅一五、驅一六、驅一七、

驅一八、驅一九、驅二〇、驅二一、

驅二二、驅二三、驅二四、驅二五、

驅二六、驅二七、驅二八、驅二九、

驅三〇、驅三一、驅三二、驅三三、

驅三四、驅三五、驅三六、驅三七、

驅三八、驅三九、驅四〇、驅四一、

驅四二、驅四三、驅四四、驅四五、

驅四六、驅四七、驅四八、驅四九、

驅五〇、驅五一、驅五二、驅五三、

驅五四、驅五五、驅五六、驅五七、

驅五八、驅五九、驅六〇、驅六一、

驅六二、驅六三、驅六四、驅六五、

驅六六、驅六七、驅六八、驅六九、

驅七〇、驅七一、驅七二、驅七三、

驅七四、驅七五、驅七六、驅七七、

驅七八、驅七九、驅八〇、驅八一、

驅八二、驅八三、驅八四、驅八五、

驅八六、驅八七、驅八八、驅八九、

驅九〇、驅九一、驅九二、驅九三、

驅九四、驅九五、驅九六、驅九七、

驅九八、驅九九、驅一〇〇、驅一〇一、

驅一〇二、驅一〇三、驅一〇四、驅一〇五、

驅一〇六、驅一〇七、驅一〇八、驅一〇九、

驅一〇一〇、驅一〇一一、驅一〇一二、

驅一〇一三、驅一〇一四、驅一〇一五、

0622

海軍公報 第四千二百十四號 大正十五年十二月二日

一一七五

【航海中】	<p>【長崎】(青葉) 江風、菊          【馬公】(谷風) 檜、桃、柳          【鎮海】(檜) 藤、萩、葛          【旅順】(薄) 鳥羽          【上海】(安宅) 平戸          【南京】(勢多) 堅田          【九江】(隅田) 比良          【漢口】(磯崎) 伏見          【長沙】(比良) 保津          【宜昌】(伏見) 葵          【重慶】(保津) 石廊          【馬尼拉】(葵) 入雲          【サンビドロ】(石廊) 入雲          【シンガポ】(入雲)</p>	<p>驅二三、驅二五、驅一九、驅二七、驅三一          呂一、呂二、呂六三、呂六四、呂六八、          呂六一、呂六二、呂六〇、呂二四、          呂三三、呂二五、呂四四、呂三、呂五、          呂三三、呂三〇、呂二九          呂朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風          敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、          知床          (伊五四)、(驅三一)</p>
		<p>神威 (十一月二十三日横須賀發「タラカン」へ)          浦風 (一日横須賀發上海へ)          太刀風、羽風、帆風、秋風 (一日函館發横須賀へ)          伊三 (一日神戶發横須賀へ)          高崎 (二日佐世保發西戸崎へ)</p>

(部内限二頁)

0623

# 海軍公報

第四千二百十五號

大正十五年十二月三日(金)  
海軍大臣官



## ○ 辭 令

○大正十五年十二月三日

任海軍助教

給五級俸

横山 吉藏

任海軍技手

給六級俸

小出 宗夫

海軍中佐 降幡 敏

高等軍法會議判士ヲ免ス(以上海軍省)

給三級俸(以上同) 海軍編修書記 神山 俊一

海軍水雷學校附ヲ命ス 海軍助教 横山 吉藏

海軍技手 小出 宗夫

吳海軍工廠附ヲ命ス(以上同)

海軍中佐 蜂屋 義尾

(各通) 同 西尾 四郎

第一課勤務ヲ命ス

第二課勤務ヲ命ス(以上海軍省軍需局)

海軍主計少將 入谷 清長

總務部ニ於テ勤務スヘシ 海軍大佐 貝沼門次郎

總務部第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 久原 福松

總務部第三課勤務ヲ命ス 同 西尾 四郎

第一部第二課勤務ヲ命ス 同 高橋 伊望

(各通) 同 海軍少佐 山田 滿

總務部第一課勤務ヲ命ス 同 代谷 清志

第一部第三課勤務ヲ命ス 海軍中尉 中野 實

(各通) 海軍機關中佐 大野 俊彦

海軍機關少佐 平田 周二

第五部勤務ヲ命ス 同 榎本隆一郎

總務部第三課勤務ヲ命ス

海軍公報 第四千二百十五號

大正十五年十二月三日

一一七七

0624

第五部勤務ヲ命ス 海軍機關大尉 久保田 芳雄

海軍主計少佐 山口 一

總務部第二課勤務ヲ命ス

第四部勤務ヲ命ス 海軍造船大尉 加藤 恭亮

海軍造機大尉 近藤 市郎

第五部勤務ヲ命ス(以上三所海軍艦政本部)

○ 雜 款

○軍艦利根行動豫定

地 名 着 十二月 六 日

佐 世 保 十二月 六 日

上 海 十二月 八 日

○伊太利軍艦「カボト」本邦沿岸巡航豫定變更(十月八日本欄参照)

本月二日横濱出港神戸寄港ヲ取止メ上海ニ直航ス

○郵便物發送先

軍艦利根宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保

其ノ後ハ 長崎郵便局氣付

海軍中尉從七位村松良本月二日死去、來四日午前  
十時ヨリ十一時迄市外雜司ヶ谷東通九百五十番地  
自宅ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

○正誤  
本月二日公報本欄 滯在地變更中「本月」ハ「去月」ノ  
誤  
本月二日公報辭令欄中「海軍中佐山田忠治 航空用語  
調査委員竝同委員會幹事ヲ命ス」ハ衍  
諸例則卷二、一〇一九頁十五行「特務士官教育ニ」ハ  
「特務士官教育」ト官教育ニ」ノ誤

0625



○艦船所在

△印△ハ△ホ△ノ  
指定ヲ要セス

○十二月三日午前十時調

〔横須賀〕

千早△、筑摩△、榛名△、磐手、口長門△、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、口加古、

古鷹、滿州、日進△、春日、口金剛、阿蘇

△、松、杉△、柏、口峯風、矢風、

澤風、沖風、口野風、沼風、口一、口梅、

楠、桂、楓、口灘風、汐風、夕風、

島風、口騮七、騮五、騮九、騮三、

波風、三日月、白露

波一、波二、波九、波一〇、口呂二二、

呂一一、呂一三、口呂二〇、呂二二、

呂二二、口伊二、伊一、口呂五七、呂五九、

呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、

口掃二、掃三、掃四、掃一、口神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、櫻

武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江

(加賀)、(伊五八)

〔石川島〕(騮三〇)

〔浦賀〕(騮二八)

〔吳〕

明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、

日向△、勝力、伊勢△、扶桑、口鬼怒、

神通、阿武隈、那珂、大井、口長鯨、

天龍、韓崎、赤城△、矢矧、木曾

口山風、海風、檜、榎、口騮一二、騮一八、

騮一六、口騮一〇、口騮四、騮二、騮八、

騮六、口時津風、磯風△、濱風、天津風△

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、口呂二六、呂二七、呂二八、

口伊五二、伊五一、口呂一七、呂一九、

呂一八、口呂一六、呂一四、呂一五、

口呂五一、呂五三、呂六五、伊三

磯波、菊月、長月、水無月、綾波、浦波

野間、隱戸、野島、劍崎、朝日△、間宮、

攝津、膠州、大和、室戸

(伊五三)、(伊五五)

〔神戶〕(衣笠)

(呂三一)、(呂六七)、(伊二二)、(呂六六)

〔德山〕青島

〔舞鶴〕吾妻

〔宮津〕口椿、桑、櫻、檜

〔佐世保〕最上、常磐、對馬、龍田、口夕張、迅鯨、

比叡、川内、由良、若宮、宇治、利根、

陸奥、霧島、駒橋、名取、長良

櫻、桐、橘、樺、口從、竹、梨、榎、

騮二九、口蓬、蓮、蓼、口菱、董、蕨、

華、口檜、柿、栗、梅、口騮一一、

騮一七、騮一三、騮一五、口騮二二、

海軍公報 第四千二百十五號 大正十五年十二月三日

一一七九

0626

<p>【西戸崎】 高崎          【長崎】 (青葉)          【馬公】 谷風、江風、菊          【鎮海】 洲崎          【旅順】 薄、藤、萩、葛          【上海】 安宅、鳥羽          【南京】 勢多、平戸          【九江】 陰田          【漢口】 嵯峨、堅田          【長沙】 比良          【宜昌】 伏見          【重慶】 保津          【馬尾】 葵          【タラカン】 神威          【サンビドロ】 石廊          【モンバサ】 出雲、八雲</p>	<p>驅二三、驅二五、驅一九、驅二七、驅三一          呂一、呂二、呂六三、呂六四、呂六八、          呂六一、呂六二、呂六〇、呂二四、          呂二三、呂二五、呂四、呂三、呂五、          呂三三、呂三〇、呂三九          呂朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風          敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、          知床          (伊五四)、(驅三二)</p>
	<p>【航海中】          浦風 (一日横須賀發―上海へ)          太刀風、羽風、帆風、秋風 (一日函館發―横須賀へ)          檜、檜、桃、柳 (三日鎮海發―佐世保へ)          早鞆 (三日徳山發―佐世保へ)</p>

(部内限三頁)

0627

# 海軍公報

第四千二百十六號

大正十五年十二月四日(土)

海軍大臣官房

## ○辭令

給三級俸(三海軍省) 海軍技手 齋藤 周作  
第二課勤務ヲ命ス 海軍中佐 西尾 四郎

(各通) 同 山田 忠治  
同 宮田 義一

第二課兼第一課勤務ヲ命ス 同 永峯 專治  
第二課勤務ヲ命ス 海軍機關中佐 横山 善助

第三課勤務ヲ命ス(以上三海軍省教育局) 海軍主計少佐 山口 一

通常物品會計官吏ヲ命ス(三海軍艦政本部通常物品  
出納命令官) 海軍中佐 宇佐美 治作

科學研究部勤務ヲ命ス 海軍機關中佐 永江 晋  
檢査官職務執行ヲ命ス

航空研究部勤務ヲ命ス 海軍主計少佐 桑 原 憲

會計課兼科學研究部電氣研究部航空研究部造船研究  
部勤務ヲ命ス

會計課勤務ヲ命ス 海軍主計大尉 倉富 邦郎

科學研究部勤務ヲ命ス 海軍造兵大尉 頼 吾

(各通) 海軍書記 島森 銀次郎  
同 森川 安一  
同 黒川 光壽  
囑 託 大塩 幹

兼會計課附ヲ免ス(以上三海軍技術研究所)

## ○雜款

○旗艦變更  
練習艦隊司令官ハ本月三日旗艦ヲ出雲ヨリ八雲ニ變更  
セリ

○自今運用術練習艦教務ニ關スル書類並運用術航海術  
ニ關スル研究資料等ハ總テ春日副官宛御送付ヲ得度  
(運用術練習艦春日副官)

(郵便物發送先)

海軍公報 第四千二百十六號 大正十五年十二月四日

一一八一

.0628

特務艦襟裳苑

十二月十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保  
 同 十二日迄ニ 同 徳山  
 同 二十日迄ニ 同 大湊  
 其ノ後ハ 佐世保

○監督官異動

出張地方	職	官	氏名
東京	造船監督官兼造兵監督官(首席)	海軍大佐	徳田伊之助
同	技術研究所員兼造兵監督官	海軍中佐	宇佐美治作
長崎	造船監督官	海軍機關中佐	上原 松山
東京	同	同	林 興市
浦賀	同	同	末松 直敬
東京	造兵監督官	海軍機關少佐	荒木 拙三
同	艦政本部員兼軍需局員造兵監督官	海軍機關大尉	片平 琢治
同	造船監督官	海軍造機大尉	竹中 康

○事務所設置

第二十八號驅逐艦裝製員事務所ヲ神奈川縣三浦郡浦賀町浦賀船渠株式會社内ニ設置シ本月三日ヨリ事務ヲ開始セリ

0629

○艦船所在

▲印ハ(ハホニ) 指定ヲ要セス

○十二月四日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、磐手、口長門▲、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、ト加古、

古鷹、滿州、日進▲、春日、口金剛、阿蘇

口神▲、松、杉▲、柏、口峯風、矢風、

澤風、沖風、口野風、沼風、驅一、口梅、

楠、桂、楓、口灘風、汐風、夕風、

島風、口驅七、驅五、驅九、驅三、

波風、三日月、白露

波一、波二、波九、波一〇、口呂二二、

呂一一、呂一三、口呂三〇、呂二一、

呂三二、口伊二、伊一、口呂五七、呂五九、

呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、

口掃二、掃三、掃四、掃一、口神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江

(加賀)、(伊五八)

【石川島】(驅三〇)

【浦賀】(驅二八)

【吳】 明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、

日向▲、勝力、伊勢▲、扶桑、ト鬼怒、

神通、阿武隈、那珂、大井、ト長鯨、

天龍、韓崎、赤城▲、矢矧、木曾

口山風、海風、檜、口驅一二、驅一八、

驅一六、口驅一〇、口驅四、驅二、驅八、

驅六、口時津風、磯風▲、濱風、天津風▲

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、口呂二六、呂二七、呂二八、

口伊五二、伊五一、口呂一七、呂一九、

呂一八、口呂一六、呂一四、呂一五、

口呂五一、呂五三、呂六五、伊三

口磯波、菊月、長月、水無月、綾波、浦波

野間、隱戸、野島、劍埼、朝日▲、間宮、

攝津、膠州、大和、室戸

(伊五三)、(伊五五)

【神戶】(衣笠)

(呂三一)、(呂六七)、(伊二一)、(呂六六)

【舞鶴】 吾妻

【宮津】 口榕、桑、櫻、檜

最上、常磐、對馬、龍田、ト夕張、迅鯨、

比叡、川内、由良、若宮、宇治、利根、

陸奥、霧島、駒橋、名取、長良

口櫻、桐、橘、樺、口樅、竹、梨、榎、

驅二九、口蓬、蓮、蓼、口菱、董、蕨、

口棗、口榆、柿、栗、梅、口驅一一、

驅一七、驅二三、驅一五、口驅二一、

驅二三、驅二五、驅一九、驅二七、驅三一、

海軍公報 第四千二百十六號 大正十五年十二月四日

一一八三

0630

<p>【西戸崎】 高崎</p> <p>【長崎】 (青葉)</p> <p>【馬公】 区谷風、江風、菊</p> <p>【鎮海】 洲崎</p> <p>【旅順】 区薄、藤、萩、葛</p> <p>【上海】 区安宅、鳥羽</p> <p>【南京】 平戸</p> <p>【漢口】 嗟峨、堅田</p> <p>【長沙】 比良</p> <p>【宜昌】 伏見</p> <p>【重慶】 保津</p> <p>【馬尾】 葵</p> <p>【タラカン】 神威</p> <p>【サンビドロ】 石廊</p> <p>【モンバサ】 八雲、出雲</p>	<p>区樞、檜、桃、柳</p> <p>呂六、呂三、区呂六三、呂六四、呂六八、</p> <p>区呂六一、呂六三、呂六〇、区呂二四、</p> <p>呂二五、呂二五、区呂四、呂三、呂五、</p> <p>呂三三、呂三〇、呂二九</p> <p>区朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風</p> <p>敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、</p> <p>知床</p> <p>(伊五四) (驅三三)</p>	<p>【航海中】</p> <p>浦風 (一日横須賀發―上海)</p> <p>区太刀風、羽風、帆風、秋風 (二日函館發―横須賀)</p> <p>早鞆 (三日徳山發―佐世保)</p> <p>勢多 (三日南京發―九江)</p> <p>朗田 (四日九江發―漢口)</p> <p>青島 (四日徳山發―佐世保)</p>
---	---	---

(部内限ナシ)

0631

# 海軍公報 第四千二百十七號

大正十五年十二月六日

海軍大 監房

## ○辭令

第二課兼第一課勤務ヲ命ス 海軍大佐 重松 良一

(各通)

第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 竹原 九一郎  
小澤 覺輔

第二課勤務ヲ命ス (以上 同 栗林 今朝吉  
水支部)

## ○雜款

○司令驅逐艦變更

第五驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ一時第七號驅逐艦ヨリ第三號驅逐艦ニ變更セリ

○司令艇變更

第一掃海隊司令ハ本月六日司令艇ヲ第二號掃海艇ヨリ第一號掃海艇ニ變更セリ

○第十六驅逐隊(驅一〇、驅一六、驅一八)行動豫定

地名	着	發
吳	十二月九日	十二月六日
旅順	十二月九日	

○特務艦室戶行動豫定

地名	着	發
吳		十二月五日
佐世保	十二月七日	八日
西戶崎	九日	十二日
横須賀	十五日	十九日
吳	二十二日	

○特務艦襟裳行動豫定

地名	着	發
横須賀		十二月九日
大湊	十二月十三日	

○特務艦襟裳行動豫定變更(十二月十八日 本欄参照)

海軍公報 第四千二百十七號 大正十五年十二月六日

一一八五

0632

地名	着	發
佐世保	十二月十二日	十二月十一日
德山	十二月十七日	十二月十三日
大湊	十二月二十五日	十二月二十一日
佐世保		

○郵便物發送先

第二驅逐隊(峯風、澤風、沖風、矢風)宛

自今

大湊

特務艦大泊宛

十二月八日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀  
其ノ後ハ大湊

○赴任

支那在勤帝國公使館附武官輔佐官ニ補セラレタル海軍  
少佐中原三郎ハ來十二月七日午前九時三十分東京發赴  
任ノ豫定

豫備役海軍大尉五七位勳六等小林正十一月二十二  
日日本赤十字社山口支部病院ニ於テ死去セリ

0633



○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月六日午前十時調

〔横須賀〕

千早、筑摩、榛名、磐手、口長門、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、加古、

古鷹、滿州、日進、春日、金剛、阿蘇

、松、杉、柏、峯風、矢風、

澤風、沖風、野風、沼風、驅一、梅、

楠、桂、楓、灘風、汐風、夕風、

島風、驅三、驅七、驅五、驅九、

波風、三日月、白露、太刀風、羽風、

帆風、秋風

波一、波二、波九、波一〇、呂二、

呂一、呂三、呂三〇、呂二、

呂三二、伊二、呂五七、呂五九、

呂五八、呂五五、呂五四、呂五六、

伊三

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江

(加賀)、(伊五八)

〔石川島〕(驅三〇)

〔浦賀〕(驅二八)

〔吳〕

明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、

日向、勝力、伊勢、扶桑、鬼怒、

神通、阿武隈、那珂、大井、長鯨、

天龍、韓崎、赤城、矢矧、木曾

驅一、驅二、驅一八、驅一六、驅一〇、

驅四、驅八、驅六、時津風、

磯風、濱風、天津風

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二六、呂二七、呂二八、

伊五三、伊五一、呂一七、呂一九、

呂一八、呂一六、呂一四、呂一五、

呂五一、呂五三、呂六五

磯波、菊月、長月、水無月、綾波、浦波

野間、隱戸、野島、劍崎、朝日、間宮、

攝津、膠州、大和、高崎

(伊五三)、(伊五五)

〔神戶〕(衣笠)

(呂三一)、(呂六七)、(伊二二)、(呂六六)、

(伊二二)

〔舞鶴〕吾妻

〔宮津〕椀、桑、櫻、楨

〔佐世保〕最上、常磐、對馬、龍田、夕張、迅鯨、

比叡、川内、由良、若宮、宇治、利根、

陸奥、霧島、駒橋、名取、長良

櫻、桐、橘、樺、從、竹、梨、榎、

0634

驅二九、區蓬、蓮、麥、區菱、董、蕨、  
 葦、區榆、柿、栗、梅、區驅一一、  
 驅一七、驅一三、驅一五、區驅二一、  
 驅二三、驅二五、驅一九、驅二七、驅三一、  
 區橙、檜、桃、柳  
 呂一、呂二、區呂六三、呂六四、呂六八、  
 區呂六一、呂六一、呂六〇、區呂二四、  
 呂二三、呂二五、區呂四、呂三、呂五、  
 區呂三二、呂三〇、呂二九  
 區朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風  
 敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、  
 知床、早鞆  
 (伊五四)、(驅三二)  
 【長崎】(青葉)  
 【馬公】區谷風、菊  
 【鎮海】洲崎  
 【旅順】區薄、藤、萩、葛  
 【上海】區安宅、鳥羽  
 【南京】平戸  
 【九江】勢多  
 【漢口】嵯峨、堅田  
 【長沙】比良  
 【宜昌】伏見  
 【重慶】保津  
 【馬尾】葵

【モンパツ】八雲、出雲

【航海中】

浦風 (一日横須賀發→上海へ)

隅田 (四日九江發→漢口へ)

青島 (四日徳山發→佐世保へ)

神威 (四日「タラカン」發→「マニラ」へ)

江風 (五日馬公發→福州へ)

石廊 (五日「サンビドロ」發→桑港へ)

區山風、海風、檜、榎 (六日吳發→鎮海へ)

室戸 (六日吳發→佐世保へ)

(部内限一頁)

0635

# 海軍公報

第四千二百十八號

海軍大臣官房

大正十五年十二月七日(火)

## ○通牒

大正十五年十二月六日

海軍經理學校

部内各部御中

講義録ノ件

本年七月二十日ノ海軍公報上ニテ豫約募集致置候第四回海軍臨時講習講義録印刷出來候條近ク發送可致候實費(一部ニ付金二圓)ハ講義録到着次第封入ノ振替貯金用紙ニヨリ拂込相成度有通知ス

## ○辭令

東京帝國大學教授 三 瀧 信三

海軍大學校ニ於ケル法學通論教授ヲ囑託ス

但毎學年報酬金參百圓ヲ贈與ス(海軍省)

## ○雜款

○司令驅逐艦變更

第十六驅逐隊司令ハ本月三日司令驅逐艦ヲ第十二號驅逐艦ヨリ第十六號驅逐艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦淺間宛

十二月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ

佐世保

○第十一潛水隊及第十五潛水隊ハ本月六日以後庶務ヲ吳防備隊ニ於テ行フ

○事務所設置

第三十號驅逐艦裝具事務所ヲ東京市京橋區佃島石川島造船所内ニ設置シ本月六日ヨリ事務ヲ開始セリ

○國際聯盟新加坡保健部東局傳染病週報(自十一月二十一日至十一月二十七日)

海軍公報 第四千二百十八號 大正十五年十二月七日

一一八九

0636

ハイフオン	ケリボン	新嘉坡	コロシボ	ツチコリン	ウキザガバタム	蘭 貢	マドラス	カルカッタ	孟 買	アレキサンドリア	ポートルイズ	ダルバン	患者		痘 瘡	
													死者	鼠有菌		
						三				一	八					
	(+)		(+)								(+)					
		一						一六								
三三		一				一		二二	五			二				
		一		一	一		一	一八	四							
<p>摘要 比律賓群島、「サマリンダ」、「ボンチヤナク」ハ孰モ報告未着</p>												ツ	大	盤		
												ト	連	谷		
												ラ		(+)		
												ン		一		
													一	一		

0637

○艦船所在

△印ハハホ  
指定ヲ要セス

○十二月七日午前十時調

【横須賀】

千早△、筑摩△、榛名△、磐手、口長門△、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、△加古

古鷹、滿州、日進△、春日、口金剛、阿蘇

△榊△、松、杉△、柏 △野風、沼風、驅一、

△梅、楠、桂、楓、△瀨風、汐風、夕風、

島風、△驅三、驅七、驅五、驅九、

波風、三日月、白露、△太刀風、羽風、

帆風、秋風

波一、波二、波九、波一〇、△呂二、

△呂一、△呂三、△呂二〇、△呂二一、

△呂二二、△伊二、△呂五七、△呂五九、

△呂五八、△呂五五、△呂五四、△呂五六、

伊三

△掃一、△掃二、△掃三、△掃四、△神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、櫻

武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江、

青島

(加賀)、(伊五八)

【石川島】(驅三〇)

【浦賀】(驅二八)

【吳】

明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、

日向△、勝力、伊勢△、扶桑、△鬼怒、

神通、阿武隈、那珂、大井、△長鯨、

天龍、韓崎、赤城△、矢矧、木曾

驅一二、△驅四、驅二、驅八、驅六、

△時津風、磯風△、濱風、天津風△

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

△呂二、△呂二六、△呂二七、△呂二八、

△伊五二、△伊五一、△呂一七、△呂一九、

△呂一八、△呂一六、△呂一四、△呂一五、

△呂五一、△呂五三、△呂六五

△磯波、菊月、長月、水無月、綾波、浦波

野間、隱戸、野島、劍崎、朝日△、間宮、

攝津、膠州、大和、高崎

(伊五三)、(伊五五)

(呂三一)、(呂六七)、(伊二一)、(呂六六)、

(伊二二)

【舞鶴】吾妻

【宮津】△椿、桑、櫻、楨

最上、常磐、對馬、龍田、△夕張、迅鯨、

比叡、川内、白良、若宮、宇治、陸奥、

霧島、駒橋、名取、長良

△櫻、桐、橘、樺、△從、竹、梨、榎、

驅二九、△蓬、蓮、蓼、△菱、薑、蕨、

<p>【長崎】(青葉)          【馬公】(谷風、菊)          【旅順】(薄、藤、萩、葛)          【上海】(安宅、鳥羽、浦風)</p>	<p>【南京】(平戸)          【九江】(勢多)          【漢口】(蹙賊、堅田、隅田)          【長沙】(比良)          【宜昌】(伏見)          【重慶】(保津)          【馬尾】(葵、江風)</p>	<p>【モンスン】(入雲、出雲)</p>	<p>【航海中】          神威 (四日「タラカン」發「マニラ」へ)          石廊 (五日「サンビドロ」發「桑港」へ)          利根 (六日佐世保發「上海」へ)          呂山風、海風、檜、板 (六日吳發「鎮海」へ)          呂驛一六、驛一〇、驛一八 (六日吳發「旅順」へ)          呂峯風、矢風、澤風、沖風 (六日横須賀發「大湊」へ)          室戸 (六日吳發「佐世保」へ)          洲崎 (六日鎮海發「徳山」へ)          知床 (六日佐世保發「徳山」へ)</p>
--	---	----------------------	--

0639

(部内限四頁)

# 海軍公報

第四千二百十九號

大正十五年十二月八日(水)

海軍大臣官



## ○通牒

經豫第五八〇號

大正十五年十二月八日

海軍省經理局長

各支出官殿

海外拂ノ件

本年三月經豫第一一二號及同五月經豫第一一二號ノ五  
ヲ以テ海外拂經費ノ内純分比價ヲ以テ換算率ト爲シ支  
拂方ニ關シ通牒候處本日限り之ヲ廢止ス  
右通牒ス

## ○辭令

大島 善平

獨國留學中同國ニ於ケル官役職工ノ傷病救濟機關ノ  
調査ヲ囑託ス  
但部内限り奏任官待遇トス(註前海軍省)

## ○雜款

吳海軍經理部部員海軍主計少佐 藤野 恭一  
艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同

吉村 武雄

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上註前海軍省經理局  
支出官)

○司令驅逐艦指定

第二十二驅逐隊司令ハ本月三日司令驅逐艦ヲ第二十七  
號驅逐艦ニ指定セリ

○第十五驅逐隊(薄、藤、萩、葛)行動豫定

地名 着 發

旅 順 十二月十三日 十二月十一日

吳 十二月十三日

○第十七驅逐隊(山風、海風、檜、板)行動豫定

海軍公報 第四千二百十九號 大正十五年十二月八日

一一九三

0640

地名 着 發

吳鎮海 十二月七日 十二月六日

○郵便物發送先

第十五驅逐隊(薄、藤、萩、葛)宛

十二月十日迄ニ到達見込ノモノハ旅順  
其ノ後ハ 吳

海軍編修書記神山俊一ハ本月二日死去セリ

0641



○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月八日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、磐手、口長門、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、加古、

古鷹、滿州、日進、金剛、阿蘇

区柳、松、杉、柏、区野風、沼風、驅一、

区梅、楠、桂、楓、区灘風、汐風、夕風、

島風、区驅三、驅七、驅五、驅九、

波風、三月月、白露、区太刀風、羽風、

帆風、秋風

波一、波二、波九、波一〇、区呂二二、

呂一一、呂一三、区呂二〇、呂二一、

呂二二、区伊二、伊一、区呂五七、呂五九、

呂五八、区呂五五、呂五四、呂五六、

伊三

区掃一、掃二、掃三、掃四、区神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江、

青島

【石川島】

(加賀)、(伊五八)

【横濱】

春日

【浦賀】

(驅二八)

【吳】 明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、

日向、勝力、伊勢、扶桑、鬼怒、

神通、阿武隈、那珂、大井、長鯨、

天龍、韓崎、赤城、矢矧、木曾

驅一二、驅一八、区驅四、驅二、驅八、

驅六、区時津風、磯風、濱風、天津風、

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、区呂二六、呂二七、呂二八、

区伊五二、伊五一、区呂一七、呂一九、

呂一八、区呂二六、呂一四、呂一五、

区呂五一、呂五三、呂六五

区磯波、菊月、長月、水無月、綾波、浦波

野間、隱戸、野島、劍埼、朝日、間宮、

攝津、膠州、大和、高崎

【神戶】 (伊五三)、(伊五五)

(衣笠)

(呂三一)、(呂六七)、(伊二二)、(呂六六)、

(伊二二)

洲崎、知床

【德山】 吾妻

【舞鶴】 柁、桑、櫻、横

【宮津】 最上、常磐、對馬、龍田、夕張、迅鯨、

【佐世保】 比叡、川内、由良、若宮、宇治、陸奥、

霧島、駒橋、名取、長良

区櫻、桐、橘、樺、区從、竹、梨、榧、  
 驅二九、区蓬、蓮、蓼、区菱、董、蕨、  
 華、区榆、柿、栗、梅、区驅一一、  
 驅一七、驅一三、驅一五、区驅二一、  
 驅二三、驅二五、驅一九、区驅二七、驅三一、  
 区檉、檜、桃、柳  
 呂一、呂二、区呂六三、呂六四、呂六八、  
 区呂六一、呂六二、呂六〇、区呂二四、  
 呂二三、呂二五、区呂四、呂三、呂五、  
 区呂三三、呂三〇、呂二九  
 区朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風  
 敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、  
 早鞆、室戸  
 (伊五四)、(驅三二)  
 【長崎】(青葉)  
 【馬公】区谷風、菊  
 【鎮海】区山風、海風、檜、榎  
 【旅順】区薄、藤、萩、葛  
 【上海】区安宅、鳥羽  
 浦風  
 【南京】平戸  
 【九江】勢多  
 【漢口】嵯峨、堅田、隅田  
 【長沙】比良  
 【宜昌】伏見

【重慶】保津  
 【馬尼】葵、江風  
 【モンパツ】区八雲、出雲  
 【航海中】  
 神威 (四日「タラカン」發「マニラ」へ)  
 石廊 (五日「サンビドロ」發「桑港」へ)  
 利根 (六日佐世保發「上海」へ)  
 区驅一六、驅一〇 (六日吳發「旅順」へ)  
 区峯風、矢風、澤風、沖風 (六日横須賀發「大湊」へ)

(附録五頁、部内限ナシ)

0643

# 海軍公報 附録

大正十五年十二月八日(水)  
海軍大臣官房

## ○雜款

### ○圖書

自大正十五年四月至同 十月 納庫圖書左ノ如シ(海軍文庫)

### 和漢書ノ部

#### ○總記

鐵櫻隨筆 海軍中將小笠原長生著 大正一五、二〇六頁

日本隨筆索引 本間爲三郎編 大正一五、八二三頁

#### 一 軍事

日本兵制史 日本歴史地理學會編 大正一五、三〇九頁

國際間諜戰 米、ジョン、ブライス、ジョーンズ著、柳井義男譯 大正一五、二八四頁

魚雷の背に跨りて 下位泰吉著 大正一五、三二三頁

國家總動員之意義 澤本孟虎著 大正一五、三〇八頁

軍備縮少の過去及び現在 網野軍治著 大正一五、二〇六頁

國際聯盟ニ於ケル軍備縮少問題 外務省編 大正一五、三三八頁

世界航空の現勢 陸軍航空兵中佐安達登造編 大正一五、三三三頁

世界航空年鑑(大正十五年度) 伊藤西夫編 大正一五、四六五

航空標識 石川源三著 大正一四、五一六頁 四〇七頁

大正十五年 航空年表 水路部編 大正一五、五七頁 四七四

航空天測諸表 水路部編 大正一五、一六三頁 四七四

露國赤軍航空連絡教令 海軍航空兵ノ部 海軍軍令部譯 大正一四、二四頁 四八五

海軍及海軍要覽(大正十五年版) 有終會編 大正一五、五二六頁 四七五

想定敵國 伊藤正徳著 大正一五、三五七頁 四七〇

米國海軍豫備員令 海軍軍令部譯 大正一四、一二頁 四五六

海軍戰略ニ就テ 海軍軍令部譯 大正一四、一五頁 四五七

海陸協同作戰 米國海軍大佐ダブリュ、エス、バイ著 海軍少佐尾崎主税譯 大正一五、一七一頁 四七一

海軍用語(機關術の部) 海軍機關學校編 大正一四、二二七頁 四七六

修學提要 海軍兵學校編 大正一〇、二冊 四七七

日本水路誌第一卷 水路部編 大正一五、第三改版、三二頁 四六四

支那海水路誌 水路部編 大正一五、第一改版、一九三頁 四六四

菲律賓諸島水路誌 下卷 水路部編 大正一五、四三八頁 四七八

大正 航海年表 水路部編 大正一五、二三六頁 四六三

大正 潮汐表 水路部編 大正一五、二八七頁 四六四

海軍公報 附録

大正十四年度練習艦記事 練習艦隊手編 大正一五、四七三  
奉公必携附録船乗標語 海軍大佐廣瀨彦太編 大正一五、四七〇  
一〇〇頁

戰爭要論 陸軍歩兵少佐村上啓作編 大正一四、六四四頁  
四七三

戰術戰史講話 陸軍歩兵大佐伊藤政之助著 大正一五、三三四頁  
四六六

砲兵戰術の圖上研究 陸軍砲兵少佐太田勝海著 大正一五、五〇一頁  
四六八

新兵器化學毒ガスとケムリ 西澤勇志智著 大正一四、四八九頁  
四八〇

二 政治、法律、經濟、社會

米國憲法論 藤井新一著 大正一五、八二七頁  
四七四

勞農露國革命憲法論 上村進著 大正一四、三〇五頁  
四六三

現代外交講話 米田實著 大正一五、五四六頁  
四七〇

外務省公表集第六輯 外務省編 大正一五、五七五頁  
四七五

建國詮眞 支那、徐樹錚著 村山正隆譯 大正一四、三四頁  
四六三

近代支那論 矢野仁一著 大正一三、三八五頁  
四六一

太平洋の諸問題 澤柳政太郎編 大正一五、五四八頁  
四七六

米國より 日米爭鬪戰 海軍少佐石丸藤太郎譯 大正一五、四三三頁  
四七〇

南米の國際鬪爭 滿鐵東亞經濟調查局編 大正一五、四三三頁  
四七〇

蘭領東印度立法行政法 臺灣總督官房調査課編 大正一五、四三三頁  
四六五

上海外國居留地行政概論 滿鐵庶務部調査課編 大正一五、一七六頁  
四七三

關東廳施政二十年史 同廳編 大正一五、一〇二五頁  
四七五

現行支那行政 宇高 著 大正一五、六二七頁  
四六三

大島島治概要附振興策 中島樂著 大正一五、二三九頁  
四七四

區劃整理と建築 東京市編 大正一三、二〇七頁  
四五一

陪審制度的話 司法省刑事局編 大正一五、四八頁  
四七〇

判決總覽 續刑法 中田健次郎編 大正一四、八〇三頁  
四六九

經濟哲學序說 滿鐵東亞經濟調查局編 大正一五、一〇六頁  
四七八

露西亞經濟史研究 佐野學著 大正一〇、六六八頁  
四六八

民國財政史 支那、賈士毅著 濱岡福松譯 大正一四、二冊  
四八八

支那政府の財政狀態ニ關スル記錄 英、イ、リチャード著 下田一夫譯 大正一四、一〇〇頁  
四五四

唐宋時代に於ける金銀の研究 加藤繁著 大正一五、四七三頁  
四七九

米國貨幣法規 造幣局譯 大正一五、二二二頁  
四七〇

印度の幣制改革問題 臺灣總督官房調査課編 大正一五、四七四頁  
四七四

奉天票と東三省の金融 滿鐵庶務部調査課編 大正一五、四七三頁  
四七三

健康保險法解説 森莊三郎著 大正一正、再版、三〇八頁  
四八一

英國金輸出解禁に對する評論を論じて我經濟政  
策に及ぶ 松方幸次郎著 大正一五、一二九頁  
四七一

豫算概論 西野元著 大正一五、二二二頁  
四六三

改正稅制早わかり 日本興業銀行編 大正一五、九一頁  
四六〇

新稅法の要領 並新舊對照稅法 同交會法制研究部編 大正一五、二二三頁  
四七三

會計制度要論 西野元著 大正一五、八一三頁  
四七六

列國國勢要覽	内閣統計局編	大正一四、一四三頁	四三八
大正時事年鑑	時事新報社編	大正一五、八〇六頁	四八〇
殖民地便覽	内閣拓殖局編	大正一五、四六頁	四五七〇
南洋群島現勢要覽	南洋廳編	大正一五、一三六頁	四七二
社會政策新原理	林葵夫著	大正一五、四〇〇頁	四八〇三
支那の社會運動	滿鐵東亞經濟調査局編	大正一五、三二四頁	四六四
支那の興國運動	滿鐵東亞經濟調査局編	大正一五、三二四頁	四六四
支那の社會組織	滿鐵東亞經濟調査局編	大正一五、三二四頁	四六四
霧西亞社會史 第一卷	佐野學著	大正一四、三三三頁	四六〇三
近代ロシア社會史研究	嘉治隆一著	大正一四、五三三頁	四六〇三
インナショナルナル發達史	淺野研眞著	大正一四、三二四頁	四六〇八
レーニンニズム	左翼共產主義小兒病 露、ニコライ、レーニン著		四六四
ボルシェヴィヰズム研究	茂森唯士譯	大正一三、二二三頁	四六四
獨逸労働組合運動史	獨、ネストリアン著	協同會譯	四八〇二
支那の労働運動	滿鐵東亞經濟調査局編	大正一五、七六〇頁	四七四三
支那労働問題	宇高 寧著	大正一四、七四四頁	四六三六
最近上海に於ける労働運動風潮	滿鐵庶務部調査課編	大正一五、一五五頁	四六四二
國勢労働運動史	林葵夫著	大正一三、一三三頁	四八〇三
融和事業年鑑	中央融和事業協會編	大正一五、二五八頁	四七九八
<b>三 歴史、傳記</b>			
綜合日本史大系	内外書籍株式會社發行	大正一五、九二五頁	四七五五
近世日本國民史	徳富猪一郎著	大正一五、五七二頁	四七六三
アダムスと家康	内山舜著	大正一五、三二五頁	四六七六
海の大日本史	谷信次著	明治三六、九〇〇頁	四七三三
西南文運史論	武藤長平著	大正一五、五一六頁	四七三七
東京市史稿 港灣編	東京市役所編	大正一五、二冊	四七二七
鎮海要港部附近史蹟概説	鎮海要港部編	大正一五、一三五頁	四六四五
滿鮮地理歴史研究報告 第十一	東京帝國大學文學部編	大正一五、三二三頁	四七七〇
東洋史要	市村清次郎著	大正一四、四七〇頁	四六三三
支那革命史	吉野作造等著	大正一一、四五六頁	四六三四
支那革命外史	北二瓶著	大正一〇、四六四頁	四六三〇
清朝末路秘史	松島宗衛著	大正一四、二七六頁	四六三九
歐洲諸國民發達史	英、ホランド、ローズ著	瀬川秀雄譯	四六九〇
霧國革命史	佛、ウィリアム、ル、キニ著	藤田泰雄譯	四六二二
米國膨脹史	市村清次郎著	大正一五、五八〇頁	四六七三
加藤高明	杉謙三著	大正一五、六八頁	四九五
平民若槻禮次郎	尼子正著	大正一五、五一九頁	四六九三
寺島貞太郎君	熊田宗次郎著	大正一五、一九七頁	四七六三
贈從五位谷村計介傳	伴三千雄編	大正一四、二二九頁	四九五九

四 地誌、紀行

最新金刺分縣地圖 木崎盛政編 大正一四、  
 詳密臺灣小誌 窪井正造編 大正一五、五四頁  
 油谷灣小誌 窪井正造編 大正一四、一五、  
 日本國誌資料叢書 太田亮著 大正一四、一五、  
 武藏、尾張、三河、甲斐、信濃、越後佐渡、  
 和泉、近江、攝津、河内、丹波丹後、  
 帝國行政區畫便覽 警視廳編 大正一四、十一版  
 臺灣事情(大正十四年版) 臺灣總督府編 大正一五、五五六頁  
 最近の臺灣 臺灣總督府編 大正一四、三四頁  
 支那經濟地理誌 交通全編 馬場楳太郎著 大正一四、三四頁  
 混亂の支那を見て來て 內藤順太郎著 大正一五、五〇頁  
 支那文化の研究 後藤朝太郎著 大正一五、八二三頁  
 黑龍江省 滿鐵庶務部調査課編 大正一三、二冊 七〇一頁  
 楊子江を中心として 上原司著 大正一四、八六〇頁  
 寧安縣事情 滿鐵哈爾濱事務所調査課編 大正一五、二六頁  
 最北の日本(カムサツカ見聞記) 伊藤修著 大正一五、三五六頁  
 北方大觀 小林七三郎著 大正一五、九六頁  
 亞細亞露西亞の交通 滿鐵庶務部調査課編 大正一四、  
 (露文翻譯調査資料第十號) 二〇五頁  
 亞細亞露西亞の住民 滿鐵庶務部調査課編 大正一五、  
 (露文翻譯調査資料第九號) 三三六頁  
 露支國境考 滿鐵哈爾濱事務所調査課編 大正一四、  
 九一頁  
 勞農露國研究叢書 滿鐵庶務部調査課編 大正一四、三冊  
 露西亞の見方 茂森唯士著 大正一四、四〇八頁、  
 四六〇頁

四

露西亞物語 太田覺敏著 大正一五、二八三頁  
 露國及露人研究 大庭景秋著 大正一四、五〇八頁  
 最近露國事情 社會局編 大正一五、二二〇頁  
 阿弗利加視察報 橫濱正金銀行調査課編 大正一五、  
 一五三頁  
 英領ボルネオ要覽 臺灣總督官房調査局編 大正一五、  
 (南支及南洋調査第百十一號) 一五五頁  
 椰子の蔭 古田中正著 大正一五、四八二頁  
 委任統 南洋群島事情 南洋總編 大正一五、一六八頁  
 冷地城 南洋群島事情 南洋總編 大正一五、一六八頁  
 西半球を巡りて 井上雅二著 大正一五、六〇三頁  
 五 宗教、哲學、教育  
 皇道 中村三郎著 大正一五、一九二頁  
 我等が祖先の信仰 松岡靜雄著 大正一五、五八頁  
 レーニン主義の哲學 錢、デボリン著 志賀義雄譯  
 大正一四、再版、一五九頁  
 青年期の心理及教育 英、スタンレーホル著  
 和田琳熊譯 大正一五、五四四頁  
 義は君臣情は父子 千代田會編 大正一四、一六九頁  
 愛國心 海軍中將小笠原長生著 大正一四、三二頁  
 吾等の信念 大妻良馬著 大正一五、一八三頁  
 忠經講義 附現代諸大家忠道論 渡邊求著 大正一五、  
 一一八頁  
 孔子及孔子教 服部宇之吉著 大正一五、四三六頁  
 六 文學、語學  
 水兵と御歌 附詠漁歌 海軍大臣官房編 大正一五、  
 題する 簡野道明著 大正一五、四五二頁  
 用字便覽 簡野道明著 大正一五、四五二頁

0647

縮字源 簡野道明著 大正一五、二、三五八頁	四六八
日支大辭彙 石山福治編 大正一三、一、六二二頁	四三八
<b>七 數學、理學、醫學</b>	
趣味の海洋小話 海軍大尉中島武著 大正一五、二、二四頁	四六五
訂改河海工學 第一編 氣象 君島八郎著 大正一五、四版	四七五
雲を擣む話 藤原吹平著 大正一五、三九五頁	四七五
人類學研究 小金井良精著 大正一五、六一五頁	四七五
統計より觀たる花柳病 山田弘倫著 大正一二、三九頁	四九八
<b>八 工學、美術、諸藝</b>	
明治工業史 造船篇 工學會編 大正一四、四五四頁	四七五
支那北京城建築 建築工藝出版社編 大正一五、	四八一
本邦重要鑛山要覽 商工省鑛山局編 大正一五、	四七五
知つておか 印刷と紙の話 潮良後喜大著 大正一五、	四六九
ればならぬ 騰寫版印刷術の秘訣 木山桂川著 大正一五、再版	四六九
體技參考書 海軍機關學校編 大正一五、三七四頁	四七四
<b>九 産業、交通、通信</b>	
英領印度の綿業 滿鐵東亞經濟調查局編 大正一五、	四六九
(經濟資料第十二卷第五號) 一七四頁	
我が國に於ける關東州の塩業 滿鐵庶務部調査課編	四六六
鹽の需給と(滿鐵調査資料第五十一編) 大正一五、三三四頁	
大正十本邦貿易年鑑 海外事情研究會編 大正一五、	四七四
五年度 七八二頁	
最新工場關係法令全集 帝國工場協會編 大正一五、	四六八
國民經濟上より觀たる各國鐵道運賃 鐵道省運輸局編 大正一五、七二頁	四七四〇
國有鐵道貨物運送規則 鐵道省編 大正一五、一七六頁	四七三
極東利權研究 竹尾式著 大正一四、三六五頁	四六六
勞農ロシアの資源及貿易 界利彦等著 大正一四、	四六六
資本主義展開期に於ける農村問題 露、レオン著	四六一
我國の關稅 滿鐵東亞經濟調查局編 大正一五、一二九頁	四九三
(經濟資料第十二卷第二號)	
大日本之化學工業 化學工業研究所編 大正一五、六四頁	四六六
海軍大辭書 住田正一編 大正一五、三冊	四六五
通信事業五十年史 逓信省編 大正一四、四九〇頁	四八〇

0648

# 海軍公報 第四千二百二十號

大正十五年十二月九日(木)  
海軍大臣官



## ○通牒

經豫第五八一號

大正十五年十二月九日

海軍省經理局長

各支出官殿

豫算現況報告書ニ關スル件

海軍會計規程第三十七條ニ依ル本年度豫算現況報告書ハ指定期限迄ニ必ス到達スル様提出相成度右申進ス

## ○辭令

海軍中佐 西尾 四郎

兼第三部勤務ヲ命ス(註明海軍艦政本部)

## ○雜款

海軍公報 第四千二百二十號 大正十五年十二月九日

## ○司令艇變更

第六掃海隊司令ハ本月六日司令艇ヲ磯波ヨリ水無月ニ變更セリ

## ○軍艦多摩行動豫定

地名 着 發  
吳 鶴 十二月十三日

舞 鶴 十二月十五日

## ○軍艦大井行動豫定

地名 着 發  
吳 公 十二月二十三日

馬 公 十二月二十六日

## ○郵便物發送先

軍艦多摩宛  
十二月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
其ノ後ハ 新舞鶴

一一九七

0649



海軍公報 第四千二百二十號 大正十五年十二月九日

第十七驅逐隊(山風、海風、榎、槽)宛

自今

鎮海

一一九八

0650

○艦船所在

▲印ハ(ハホ)ス  
指定ヲ要セス

○十二月九日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、磐手、口長門▲、山城、北上、鳳翔、五十鈴、▽加古、古鷹、滿州、日進▲、口金剛、阿蘇

口神▲、松、杉▲、柏、口野風、沼風、驅一、口梅、楠、桂、楓、口灘風、汐風、夕風、島風、口驅三、驅七、驅五、驅九、波風、三日月、白露、口太刀風、羽風、帆風、秋風

波一、波二、波九、波一〇、口呂二二、呂一一、呂一三、口呂二〇、呂二一、呂二二、口伊二、伊一、口呂五七、呂五九、呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、伊三

口掃一、掃二、掃三、掃四、口神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響、武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江、青島

(加賀)、(伊五八)

【石川島】(驅三〇)

【横濱】春日

【浦賀】(驅二八)

【吳】

明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、日向▲、勝力、伊勢▲、扶桑、▽鬼怒、神通、阿武隈、那珂、大井、▽長鯨、天龍、韓崎、赤城▲、矢矧、木曾

驅一二、驅一八、口驅四、驅二、驅八、驅六、口時津風、磯風▲、濱風、天津風▲、波三、波四、波五、波六、波七、波八、呂五三、口呂二六、呂二七、呂二八、呂五二、伊五一、口呂一七、呂一九、呂一八、口呂一六、呂一四、呂一五、口呂五一、呂五三、呂六五

口水無月、長月、浦波、磯波、菊月、綾波、野間、隱戸、野島、劍崎、朝日▲、間宮、攝津、膠州、大和

【神戶】

(伊五三)、(伊五五)、(呂三一)、(呂六七)、(伊二二)、(呂六六)、(伊二二)

【德山】

知床

【舞鶴】

吾妻

【宮津】

口椿、桑、櫻、榎

【佐世保】

最上、常磐、對馬、▽龍田、▽夕張、迅鯨、比叡、川内、由良、若宮、宇治、陸奥、霧島、駒橋、名取、長良

0651

区櫻、桐、橘、樺、区樅、竹、梨、榧、  
 驅二九、区蓬、蓮、蓼、区菱、蕙、蕨、  
 葦、区榆、柿、栗、梅、区驅一一、  
 驅一七、驅二三、驅一五、区驅二一、  
 驅二三、驅二五、驅一九、区驅二七、驅三一、  
 区榿、檜、桃、柳  
 呂一、呂二、区呂六三、呂六四、呂六八、  
 区呂六一、呂六二、呂六〇、区呂二四、  
 呂二三、呂二五、区呂四、呂三、呂五、  
 区呂三二、呂三〇、呂二九  
 区朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風、  
 敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、  
 早鞆、室戸  
 (伊五四)、(驅三二)  
 【長崎】(青葉)  
 【馬公】区谷風、菊  
 【鎮海】海風、檜、榎  
 【旅順】区薄、藤、萩、葛  
 【上海】下安宅、鳥羽  
 浦風  
 【南京】平戸  
 【九江】勢多  
 【漢口】嵯峨、堅田、隅田  
 【長沙】比良  
 【宜昌】伏見

【重慶】保津  
 【馬尾】葵、江風  
 【モンパツ】下八雲、出雲  
 【桑港】石廊  
 【航海中】  
 神威 (四日「タラカン」發「マニラ」へ)  
 利根 (六日佐世保發「上海」へ)  
 区驅一六、驅一〇 (六日吳發「旅順」へ)  
 区峯風、矢風、澤風、沖風 (六日横須賀發「大湊」へ)  
 区山風 (八日鎮海發「竹島」へ)  
 洲崎 (八日徳山發「鎮海」へ)  
 高崎 (八日吳發「横須賀」へ)

(部内限一頁)

0652

# 海軍公報

第四千二百二十一號

海軍大臣官房

大正十五年十二月十日(金)

## ○通牒

官房第三六九八號ノ四  
大正十五年十二月十日

海軍次官

横須賀鎮守府參謀長  
第二艦隊司令長官 殿

外國船「アツマ」號内地不開港場寄港出願ニ對シ今般  
左記ノ通免狀交付相成候  
右通牒ス

第三三號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 アツマ號
- 一、國籍 瑞西
- 一、種類 帆船
- 一、船主氏名及國籍 瑞西國人 エフ、バラビシニ
- 一、船長氏名及國籍 同上

- 一、噸數 拾貳本噸
- 一、橋ノ裝置 ケツチ
- 一、網具ノ目的 娛樂
- 一、回航ノ路 東京灣ヨリ三重縣津ニ至ル各沿岸
- 一、航路 東京灣ヨリ三重縣津ニ至ル各沿岸

一、寄港地名

- 東京府 品川
- 神奈川県 川崎、鶴見
- 愛知縣 蒲郡、半田
- 三重縣 津

但シ軍港要港規則及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ  
制限セラレタル地域ヲ除ク

右不開港場へ寄港ヲ許可ス  
本免狀有效期間ハ大正十五年十二月六日ヨリ大正十六年十二月五日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖  
其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ  
大正十五年十一月二十日

遞信大臣

(裏面)

海軍公報 第四千二百二十一號 大正十五年十二月十日

一一〇一

0653

アツマ號航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其ノ検査ヲ受クヘシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物、旅客ノ運搬ヲ爲スヘカラス
- 四、前記ノ中何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ直ニ此ノ免許ヲ取消スヘシ
- 五、此ノ免狀ノ期間滿了ノトキ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ
- 六、出帆前地方廳ノ檢閱ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閱スルコトアルヘシ

○ 辭令

海軍中尉 中野 實

電氣研究部勤務ヲ命ス(十二日海軍技術研究所)

○ 雜款

○司令驅逐艦指定

第五驅逐隊司令ハ本月八日司令驅逐艦ヲ第三號驅逐艦ニ指定セリ

○司令驅逐艦變更

第二十六驅逐隊司令ハ本月六日司令驅逐艦ヲ楡ヨリ梅ニ變更セリ

○特務艦知床行動豫定

地名	着	發
佐世保	十二月七日	十二月六日
德山	十二月十四日	十二月十日
大湊	十二月十四日	十二月十八日
佐世保	十二月二十二日	

○特務艦大泊行動豫定變更(本欄參照)

特務艦大泊當分ノ間横須賀出港ヲ延期ス

○郵便物發送先

軍艦大井宛  
十二月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ 馬 公

○郵便物發送先變更(本欄參照)

特務艦大泊宛 横須賀  
當分ノ間

○在外武官宿所

獨國駐在海軍造兵大尉伊藤庸二ハ宿所ヲ左記ニ定メタ  
Bei dem Bureau der Japanischen Marine,  
Bayerischer Platz 13-14 Berlin W. 30,  
Deutschland.

0654

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月十日午前十時調

〔横須賀〕

千早、筑摩、榛名、磐手、長門、

山城、北上、鳳翔、五十鈴、加古、

古鷹、滿州、日進、金剛、阿蘇、春日、

神、松、杉、柏、野風、沼風、驅一、

梅、楠、桂、楓、灘風、汐風、夕風、

島風、驅三、驅七、驅五、驅九、

波風、三日月、白露、太刀風、羽風、

帆風、秋風

波一、波二、波九、波一〇、呂二二、

呂一一、呂一三、呂二〇、呂二一、

呂二二、呂伊二、伊一、呂五七、呂五九、

呂五八、呂五五、呂五四、呂五六、

伊三

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江、

青島

(加賀)、(伊五八)

〔石川島〕(驅三〇)

〔浦賀〕(驅二八)

〔吳〕

明石、千歲、淀、球磨、淺間、多摩、

日向、勝力、伊勢、扶桑、鬼怒、

神通、阿武隈、那珂、大井、長鯨、

天龍、韓崎、赤城、矢矧、木曾

驅一二、驅一八、驅四、驅二、驅八、

驅六、時津風、磯風、沼風、天津風、

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二六、呂二七、呂二八、

伊五二、伊五一、呂一七、呂一九、

呂一八、呂二六、呂一四、呂一五、

呂五一、呂五三、呂六五

水無月、長月、浦波、磯波、菊月、綾波、

野間、隱戸、野島、劍崎、朝日、間宮、

攝津、膠州、大和

(伊五三)、(伊五五)

〔神戶〕(衣笠)

(呂三一)、(呂六七)、(伊二一)、(呂六六)、

(伊二二)

〔舞鶴〕吾妻

〔宮津〕椿、桑、樺、楨

〔佐世保〕最上、常磐、對馬、龍田、夕張、迅鯨、

比叡、川内、由良、若宮、宇治、陸奥、

霧島、駒橋、名取、長良

櫻、桐、橘、樺、縱、竹、梨、榎、

驅二九、蓬、蓮、蓼、菱、董、蕨、



# 海軍公報

第四千二百二十二號

海軍大臣官房

大正十五年十二月十一日(土)

## ○令達

官房第三七五六號

來十五日賢所御神樂被爲行候ニ付親任官一同遊勅任官  
總代ハ同日午後四時三十分賢所參集所へ參集相成度

服 裝 正 裝

大正十五年十二月十一日

海軍大臣財部 彪

## ○通牒

經豫第五八八號

大正十五年十二月十一日

海軍省經理局

關係各廳御中

工廠資金日記簿記帳方ノ件

海軍工作廳工事費整理規則第二十條ニ據リ戻入セシ場

合ニ於ケル工廠資金日記簿記帳方照會ノ向ニ對シ左記  
ノ通回答セリ

右爲參考通牒ス

記

材料戻入トナリタルトキ

(借 方)

(貸 方)

寄 附(原 費)

賦 金(損減歩合)

物品代價米費

同上代金ヲ支出シタルトキ

(借 方)

(貸 方)

本廠物品費

賦 金

海軍公報 第四千二百二十二號

大正十五年十二月十一日

一一〇五

0657



海軍省事務

國 冊

(参照) 海軍工作廳工事費整理規則  
第二十條 工作上ノ使用残り材料ニシテ工廠資金所屬材  
料ニ戻入シ得ヘキモノハ材料庫ニ返納スルコトヲ得

訓令

海軍少將 中村 良三  
海軍大學校長在職中ハ參謀官ト心得ヘシ  
海軍省出仕海軍少佐 早川 成治  
海軍省人事局ニ於テ服務スヘシ(以上皆明海軍大臣)

辭令

海軍中將 谷口 尙眞  
吳鎮守府司令長官在職中年俸七千圓ヲ賜フ  
同 古川 鈺三郎  
佐世保鎮守府司令長官在職中年俸七千圓ヲ賜フ  
海軍技手 秋山 卯之助  
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ舞鶴要港部  
附兼海軍機關學校附ヲ命ス

同 村上 米太郎  
舞鶴要港部附兼海軍機關學校附ヲ免シ海軍艦政本部  
勤務兼造船監督助手ヲ命ス

同 宮地 壽八  
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ佐世保海軍  
工廠附ヲ命ス(以上皆明海軍省)  
海軍少佐 早川 成治  
第二課勤務ヲ命ス(皆明海軍省人事局)

雜款

○總代  
來十五日賢所御神樂被爲行候節總代トシテ參列スヘキ  
旨左記へ通達セラレタリ  
勅任官總代 海軍少將 末次 信正

○特務艦高崎行動豫定  
地名 着 發  
横須賀 十二月十八日  
大 湊 十二月三十一日  
横須賀 十二月二十五日  
横須賀 十二月二十八日

0658

○郵便物發送先

呂號第六十七潜水艦宛

十二月十五日以後到達見込ノモノハ佐世保

特務艦高崎宛

十二月十七日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀

同 二十四日迄ニ 同 大 横 須 賀

其ノ後ハ 横 須 賀

海軍公報 第四千二百二十二號 大正十五年十二月十一日

一三〇七

0659

○艦船所在

▲印ハハホノ  
指定ヲ要セス

○十二月十二日午前十時調

〔横須賀〕

千早▲、筑摩▲、榛名▲、磐手、口長門▲、山城、北上、鳳翔、五十鈴、ト加古、古鷹、滿州、日進▲、口金剛、阿蘇、春日、区神▲、松、杉、柏、区野風、沼風、區一、区梅、楠、桂、楓、区瀨風、沙風、夕風、島風、区驅三、驅七、驅五、驅九、波風、三日月、白露、区太刀風、羽風、帆風、秋風  
波一、波二、波九、波一〇、区呂二、呂一、呂三、区呂三〇、呂二、呂三、区伊二、伊一、区呂五七、呂五九、呂五八、区呂五五、呂五四、呂五六、伊三  
区掃一、掃二、掃三、掃四、区神風、初霜、夕立、夕暮、如月、響  
武藏、鳴戸、大泊、富士、尻矢、松江、青島、高崎  
(加賀)、(伊五八)

〔石川島〕(驅三〇)

〔浦賀〕(驅二八)

〔吳〕

明石、千歲、淀、球磨、多摩、日向▲、勝力、伊勢、扶桑、ト鬼怒、神通、阿武隈、那珂、大井、ト長鯨、天龍、韓崎、赤城▲、矢矧、木曾  
驅一二、驅一八、区驅四、驅二、驅八、驅六、区時津風、磯風▲、沼風、天津風▲、波三、波四、波五、波六、波七、波八、呂五二、区呂二六、呂二七、呂二八、呂一八、区呂一六、呂一四、呂一五、区呂五一、呂五三、呂六五  
区水無月、長月、浦波、磯波、菊月、綾波、野間、隱戸、野島、劍埼、朝日▲、間宮、攝津、膠州、大和  
(伊五三)、(伊五五)  
〔神戶〕(衣笠)  
(呂三一)、(呂六七)、(伊三一)、(呂六六)、(伊二二)  
〔舞鶴〕吾妻  
〔宮津〕区椿、桑、櫻、楨  
〔佐世保〕最上、常磐、對馬、ト龍田、ト夕張、迅鯨、比叡、川内、由良、若宮、宇治、陸奥、霧島、駒橋、名取、長良  
区櫻、桐、橘、樺、区樺、竹、梨、榎、驅二九、区蓬、蓮、蓼、区菱、菟、藤

海軍公報 第四千二百二十二號 大正十五年十二月十一日

一一〇九

0660

<p>【長崎】(青葉)          【西戸崎】室戸          【馬公】山谷風、菊          【鎮海】山風、海風、檜、榎          洲崎          【旅順】薄、藤、萩、葛          【上海】安宅、鳥羽、利根          【南京】平戸          【九江】勢多          【漢口】嵯峨、堅田、隅田          【長沙】比良          【宜昌】伏見          【重慶】保津</p>	<p>葦、区椏、榆、柿、栗、区驅一一、          驅一七、驅一三、驅一五、区驅二一、          驅二三、驅二五、驅一九、区驅二七、驅三一、          区椏、檜、桃、柳          呂一、呂二、区呂六三、呂六四、呂六八、          区呂六一、呂六二、呂六〇、区呂二四、          呂二三、呂二五、区呂四、呂三、呂五、          区呂三二、呂三〇、呂二九          区朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風          敷島、佐多、能登呂、鶴見、襟裳、          早鞆          (伊五四)、(驅三二)</p>
	<p>【航海中】          区驅一六、驅一〇(六日吳發—旅順～)          区峯風、矢風、澤風、沖風(六日橫須賀發—大湊～)          淺間(十日新湊發—吳～)          知床(十日徳山—横須賀～)          神威(十日馬公發—徳山～)          浦風(十一日上海發—南京～)</p>

(部内限二頁)

0661